

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	秋川ファーマーズセンター
	所在地	あきる野市二宮 8 1 1 番地
	所管課	環境農林部農林課農政係
指定管理者	名称	秋川農業協同組合
	所在地	あきる野市秋川三丁目 1 番地 1
	業務内容	① 市内農業者が生産した良質で新鮮な農畜産物等の販売業務 ② 農畜産物等の販売促進に関する業務 ③ 農畜産物等の計画的生産に関する業務 ④ 地域産業との相互協力による販売業務 ⑤ 農業従事者の相談に関する業務 ⑥ 市民農園の管理に関する業務 ⑦ センターの維持管理に関する業務 ⑧ その他市長が必要と認める業務
ホームページ URL		http://www.ja-akigawa.or.jp/shiten/tennpo/fc.htm
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日

2 施設の利用状況等について

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開館等日数(日)	357	352	357	356	356
利用者(来客者)数(人)	272,914	246,158	252,265	246,386	245,426
前年度比(人)	△11,681	△26,756	6,107	△5,879	△960
前年度比(%)	95.9	90.2	102.5	97.7	99.6
利用料金(売上)合計(千円)	418,229	415,390	422,395	442,317	467,040
前年度比(千円)	△19,116	△2,839	7,005	19,922	24,722
前年度比(%)	95.6	99.3	101.7	104.7	105.6

※その他、必要に応じて、施設の性格ごとに項目を追加する。

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入	指定管理料	0	0	0	0	0
	使用料収入(売上)	264,008	261,654	270,355	333,372	353,915
	自主事業収入	149,742	149,510	152,040	108,945	110,271
	その他の収入	4,479	4,226	0	0	2,854
	計	418,229	415,390	422,395	442,317	467,040
支出	人件費	17,527	16,838	32,973	47,739	54,019
	維持管理経費	20,395	18,881	23,008	17,261	16,179
	自主事業関係経費	381,700	378,411	373,029	389,207	437,326
	その他の支出	25	36	11	0	1,810
	計	419,647	414,166	429,021	454,207	509,333
収支(収入-支出)		△1,418	1,224	△6,626	△11,890	△42,293

※数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
店舗内にアンケート用紙及び回収箱を設置して、利用者の様々な意見・要望を聞き、運営委員会を通じて生産者会員へ周知をしています。また、お客様のニーズに対応できる店舗作りを行い秋川FC全体の向上を目指しています。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
利用者からは、良い意見として「何時も美味しく食べている。新鮮な野菜が揃っている。」等の意見が多くあります。また、苦情等は、「以前に比べ出荷量が減少している。午後には商品が無い。」等の意見があります。対応としては、JA間流通や特産品の仕入等による仕入商品の充実を図り対応しています。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
野菜を陳列する際に料理レシピや商品説明のPOPを設置しています。また、地場産野菜を使用した加工品の商品化「生姜ドレッシング・のうぼう味噌汁・とうもろこし焼酎」をしています。学校給食へ野菜の出荷を積極的に行っています。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
引き続き、「レジ袋の有料化」による消費資源の削減に努めています。照明機材のLED化を進めています。仕入商品の商品ロスの軽減に努めています。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
令和5年度は、売上を前年度より大きく上回りましたが、光熱費・管理費等の高騰があり収支は厳しい状況にあります。利用者数の減少は、月間で100人程度に抑える事が出来ました。これには、イベントの開催、LINE・インスタ等の活用、テレビ取材、インターンシップ、社会科見学等受入があり、また、生産野菜の品質管理、JA間流通の拡大等により利用状況が改善しました。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上
市民から寄せられた意見要望について、継続的な内容があるように感じられる。 市民要望に応えられるよう引き続き創意工夫が必要である。
経費削減の取組
維持管理経費は節減の努力が伺えるが、ここ数年は人件費が右肩上がりの傾向が続いていることから、実効性のある適正で効果的な人員配置など、更なる取組が必要である。
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価
指定管理者として、業務内容全般について適正に管理・運営されていると評価する。一方で、引き続き実効性のある人件費削減のための努力が望まれる。

総合評価	A
------	---

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一

部に課題があると認められ、改善の必要がある。